

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

## 「学生服おゆずり会」事業

### 卒業などで不要になった学生服を再利用することで生活困窮世帯の支援とごみの削減を両立

福岡県北九州市と福岡市の2拠点で着ることなくなった学生服を寄付してもらい、クリーニングや補修などを施し、一人親世帯や生活保護世帯などへ無償で譲渡する「学生服の3R(リデュース・リユース・リサイクル)」活動に取り組んでいる。ごみとして処分されることの多い学生服を再利用することで新たな思い出を紡ぎ出す。

#### 寄付された学生服をリサイクルすることで経済的に困窮する家庭の子どもを支援

厚生労働省によると、2021年の日本の子どもの相対的貧困率は11.5%で、子どもの9人に1人が貧困状態にあるとされている。特に一人親世帯では、44.5%という高い割合となっている。経済的な理由で十分な教育を受ける機会が制限されている子どもも多くいるのが現状だが、そうした家庭にとっては学校生活で必要となる学生服の用意もかなりの負担となる。さらに、昨今の物価高騰は学生服にも影響を及ぼし、北九州市内の標準的な学生服も値上げされるなど、子育て世帯の経済的負担は増している。そうした状況を少しでも改善しようと、「制服バンク福岡」では卒業などで不要になった学生服を次に必要とする子どもたちへ譲渡する活動に取り組んでいる。

公民館や市民センターなどに設置した回収ボックスに寄付してもらった学生服を集め、それにクリーニングや補修などのメンテナンスを施し、毎年12月に開催する「学生服おゆずり会」で希望する中学生の子どもたちへ無償で提供してきた。

2024年度は118世帯から申し込みがあり、児童扶養手当を受給する一人親世帯や生活保護世帯、世帯主が障害年金受給世帯などの計81世帯に約340着を譲渡した。さらにPOSCと福岡県遊技業協同組合から助成を受け、高校生向けの「学生服おゆずり会」を2025年3月に追加開催し、計13世帯に約40着を譲渡することができた。提供する学生服が年々増えている(22年度約70着、23年度約200着、24年度約380着)ことが示すように、地域に根づいた活動に成長しつつある。



学生服おゆずり会を告知するチラシ



2024年度は約340着を譲渡した

特命助成

## 「ぱちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

### 社会的課題となっているパチンコやパチスロへの過度ののめり込みに関する相談や回復支援に取り組む

遊技業界ならびに民間や公的機関、研究・医療機関などと連携・協力しながら、ぱちんこなどの娯楽・遊技の利用者や関係者に対し、過度の「のめり込み」に関する相談・啓発・予防などの事業を行っている「リカバリーサポート・ネットワーク」。健康被害や社会損失を防止し、広く社会全体の利益に寄与する活動に取り組んでいる。

#### 個人や社会にとって娯楽が安全な社会資源となるように依存問題に多面的に取り組む

個人や社会に対する娯楽の価値は高いが、一方で過度ののめり込みなどの負の問題が生じる危険性がある。沖縄県に拠点を置いて活動する「リカバリーサポート・ネットワーク」は、娯楽の負の影響を最小限にとどめ、個人や社会にとって安全な社会資源となるように依存問題の対策を通して、遊技参加者、事業者、社会に対する支援や啓発などに長く取り組んでいる。

より早期に問題を持った人たちに介入できるよう、当団体では、①電話相談、②広報・啓発(ニュースレター発行、啓発ポスター作成、自己診断アプリやe-ラーニングシステムの開発・提供など)、③支援・連携活動(公的研究への協力、回復施設などとの連携・協力)、④企画開催(セミ

ナー・講演会など)、⑤研修活動(相談技能などの研修)、⑥資料作成/企画・出版などの事業に通年で取り組んでいる。無料電話相談では、これまでに5万件を超える相談に対応している。相談記録はデータベースに保存し、一年間のデータを解析した結果を公開している。相談案内のポスターは、日本全国のはほぼすべてのパチンコホールに貼付されている。これまでも遊技業界と協働して様々な依存問題対策を立案し、社会定着を図っており、その一つとして遊技産業従事者向けの依存問題学習e-ラーニングプログラムの提供を行っている。遊技産業関係者の視察や意見交換にも協力し、遊技産業内の依存問題対策の理解が深まるように支援を続けている。年間100名近い関係者の来訪に対応している。



ホール内に提示されているポスター



視察に訪れた都遊協八王子遊技場組合

助成団体:特定非営利活動法人 制服バンク福岡

<https://seifuku-bank.com>



#### 多くの家庭の負担を軽減し、新しいスタートのお手伝いことができました

私たちの活動が困窮家庭の入学準備の不安を和らげるだけでなく、ごみになるはずの学生服がリユースされることで、子どもたちに「エコ」の大切さを身近に感じてもらうきっかけにもなり、持続可能な未来への一助となることを願って活動しています。

特定非営利活動法人 制服バンク福岡  
代表 田中 博美さん

助成団体:特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク

<https://rsn-sakura.jp>



#### 遊技業界と協働で進める依存問題への取り組みは海外からも高い評価

社会的に重要な課題ではあるが、民間でしかできない非営利活動はたくさんあります。POSCの助成は、これからの未来を支える社会資源を育成するために重要な役割を果たしていると思っています。この助成を活用してたくさんの良質な社会資源が生まれ、育っていくことを願っています。

特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク  
代表理事 西村 直之さん